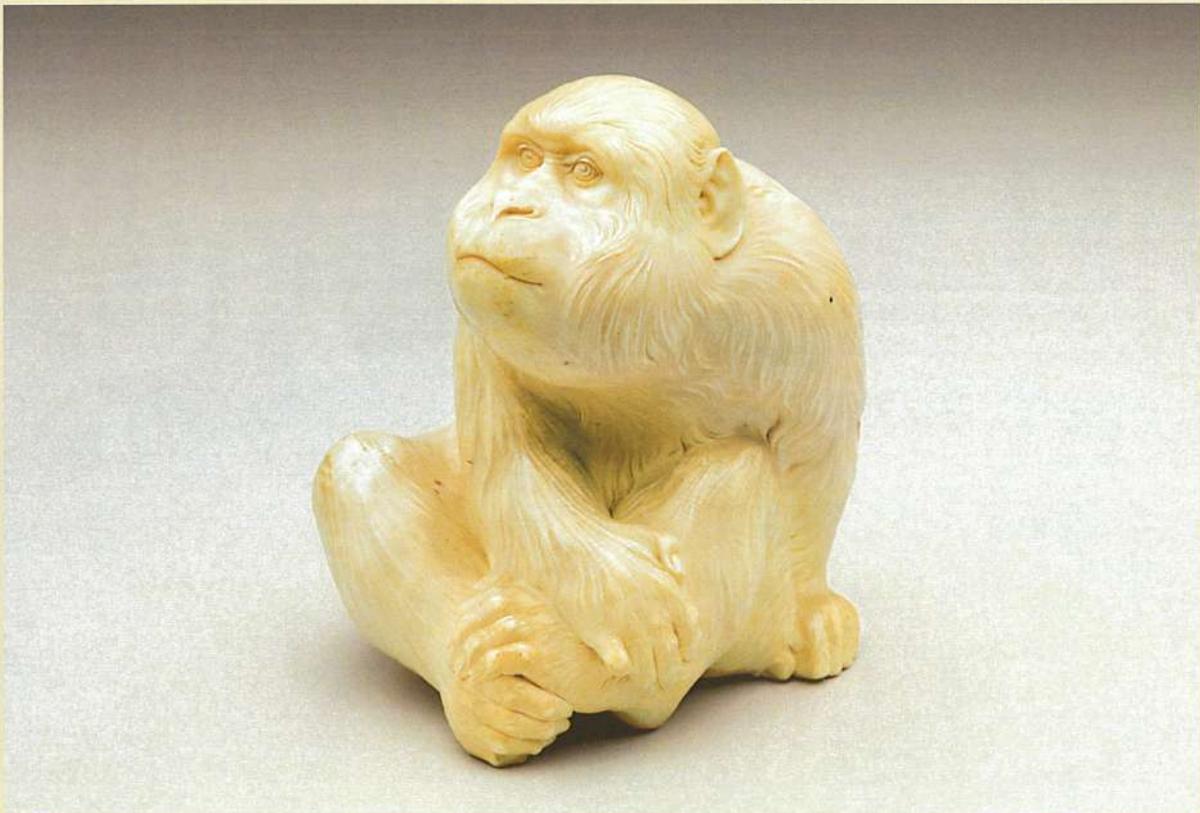


公益財団法人 **犬山城白帝文庫**

歴史文化館だより

2023.9.5



白猿置物 石川光明作

どっしりと腰を据える白猿の象牙細工で、その顔は角度によって凛々しくもユーモラスにも見えます。表情、毛並みや指先まで丁寧かつ流麗な仕上がりです。作者の石川光明（1852～1913）は帝室技芸員、東京美術学校教授などを務めました。

本作は、昭憲皇太后（明治天皇皇后）から、成瀬正肥（9代城主）三女^{まさみつ}の三千代を経て、成瀬正雄（正肥嫡子、10代城主）妻の倉子へ譲られたものです。三千代は明治天皇従兄弟の中山孝麿の後妻でした。女性の手から手へと伝えられた、伝来に物語を感じさせる作品です。現在は犬山城白帝文庫所蔵となっています。

vol.21

常設展

〈今後の催し〉

犬山城と城下町

城とまちミュージアム「展示室1」では、常設展をおこなっています。犬山城主成瀬家伝来の武器・武具、絵画、工芸品、古文書などを紹介するもので、年内の予定は下記のとおりです。

②の期間には成瀬正肥（9代犬山城主）が長州出兵に出陣したときの具足をはじめ、陣羽織、軍扇、草鞋、お守りなど鎧櫃に納められている一式を展示予定です。この具足は、このたび修復を終えたばかりですので、是非ご観覧ください。



緋羅紗地酢漿草紋陣羽織
成瀬正肥 所用
〈展示期間②〉



紺糸威具足
成瀬正肥 所用
〈展示期間②〉

◇会期：①9月5日(火)～10月24日(火)
②10月26日(木)～12月12日(火)

※10月25日(水)・12月13日(水)は展示替えのため休室します。なお、展示室2とエントランスホールはご観覧いただけます。

吉田初三郎来犬100周年記念企画展 「犬山名所案内～初三郎と観光～」を開催

鳥瞰図画家として有名な吉田初三郎（1884～1955）は大正12年（1923）の関東大震災を機に東京から犬山へ移り住みました。昭和11年（1936）に青森県八戸市へ拠点を移すまでの間、犬山のアトリエ「蘇江画室」では数多くの作品が誕生しました。初三郎は創作活動の一方で、昭和2年に「日本新八景」の選定で木曾川が河川の部1位を獲得したことや、桃太郎神社の創建にも尽力し、「日本一桃太郎会」の会長をとめるなど犬山の観光面にも大きく寄与しました。

今年は、初三郎が犬山にアトリエを構えて100周年です。このことを記念して、犬山市文化史料館と共催でこの企画展をおこないました。原画やパンフレット、古写真など79件の作品から初三郎も描いた大正・昭和初期の犬山の様子と、初三郎が去ったあとも犬山に残った弟子の稲垣満一郎の作品も紹介しました。



犬山之春 蘇川之秋 吉田初三郎筆

◇会 期：4月28日(金)～6月5日(月)
◇入館者数：8,508名

◆ 白帝文庫友の会入会のご案内 ◆

白帝文庫友の会は、犬山城白帝文庫の活動の支援をするとともに、会員相互の親睦を図り、文化の向上に寄与することを目的としています。会員は随時募集しています。

特典

- ①犬山城・城とまちミュージアムに会員証で何回でも入館できます
- ②特別展の招待券をお送りします
- ③視察研修会や講座など催し物の案内をお送りします
- ④「特別展図録」と「歴史文化館だより」をお送りします

年会費

3,000円

会員期間

お申込み受付後から1年間
(会員証をお送りします)

お問い合わせ

入会案内をご希望の方は下記へご連絡ください
〒484-0082 愛知県犬山市犬山北古券65-5
TEL 0568-65-1707 FAX 0568-62-2055

公益財団法人 犬山城白帝文庫歴史文化館

〒484-0082 愛知県犬山市犬山北古券8(城とまちミュージアム内)
TEL/0568-62-4700 FAX/0568-61-5765
E-mail/info@inuyamajohb.org